



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

94.10.6 No. 4074

① 解雇撤回・清算事業団闘争勝利の闘いに全力を上げよう!

昨年の一・二月中労委会命以降、国労の動揺を引き出し「話し合い解決」という屈服の道に引き込み、闘いの解体を目的とした攻撃が激化しています。この攻撃との闘いは、国鉄闘争と労働運動全体の未来がかかった天下分け目の闘いです。解雇撤回・清算事業団闘争勝利の闘いを①日本労働運動全体にとって重要な戦略的闘いとして②大失業時代に抗する闘いとして③JRの一〇年目の総括評価をめぐり分割・民営化体制の反動的再編の攻撃を見据え、殺人的な労働強化への全JR労働者の怒りを結集し、④JR総連解体の闘いと結合して闘うこととします。

② 分割・民営化体制の反動的再編と対決し、六〇歳まで働ける労働条件の確立、運転保安確立、強権的差別労務政策粉砕、JR総連解体・一掃に向け全力で闘おう

① 何よりも、支配階級自身が分割・民営化の失敗を自認し、その抜本的再編攻撃に打って出てきています。まさに全面的な大合理化の攻撃です。一二月ダイ改における合理化攻撃もそうしたことが買われたものとしてあります。

そうした本質を見据え、JR体制打倒大改革の闘いに立ち上がることにします。最大の環は、反合闘争の全面的強化です。とくに、貨物動乗改悪・中長期計画合理化、JR千葉支社をめぐり管内業

務移管―地域切り捨て等を焦点とした一・三ダイ改闘争にストも含み、全力で立ち上がります。

また、今後五五歳到達者が増加する状況に踏まえ、「五五歳強制出向」、退職前提休職の強要を許さず、六〇歳まで働ける労働条件の確立に向けた取り組みを強化します。

② 強制配転者の原職復帰に向けた闘いを軸に、強権的な差別労務政策の闘いを強化します。土職の慢性的要員逼迫状況にも関わらず、「塩漬け」を続ける労務政策を許さず闘います。

また、昇進差別を許さず、「JR体制」政治改革運動」にのめりこめばこむほど、

③ 「全国にはばたこう」方針の発展をかけた新たな労働運動を創りだそう!

労働運動がおし潰された時代は、戦争への道をたどることを歴史は証明しています。一切の問題の核心は、労働運動の行方です。現在の攻撃の前に労働運動が屈してしまうのか、押し返すことが出来るのか、連合路線のもとに膝を崩してしまふのかが問われます。一方、連合は「

政治改革運動」にのめりこめばこむほど、

④ 反戦闘争に全力で立ち上がるう!

反戦政治闘争を労働運動の第一義的な課題として今一度位置付け直さなければなりません。そもそも戦後日本労働運動は、「二度と戦争を繰り返してはならない」という闘いでした。しかし、その真価が問われようとしている時に総屈服状況となっています。

とくに、大失業時代の到来は、ひとつ間違えば、排外主義・国家主義に労働者が組織化される恐れがあります。この間の在日朝鮮人の方々への襲撃事件を見るとき、他人こととは言えません。

「国際貢献」「国連中心主義」というペテンを許さず、来年の敗戦・憲法制定五〇周年を見据え、朝鮮侵略戦争阻止、憲法改悪阻止にむけて全力で闘うこととします。

21回定期大会決定方針を職場で討議しよう!

の危機をついて全組合員の方で、壁に穴をあけるために全力で闘います。

③ この間の車両故障、保安設備故障等の多発に見られる事態は、安全を無視した合理化のツケが設備面からも噴き出していることを示しています。この点からも当局を追及し、闘争化する取組みを強化します。

④ JR総連解体・一掃の闘いの強化が求められています。この間一斉に噴き出したJR総連改革マル排除の動きは、今後一年間より大きな問題となることは間違いないありません。「闘う労働再建」を合言葉に、諸悪の根源―JR総連解体・一掃の闘いを強化します。

不況と首切り、無権利状態に置かれている現場の労働者の気持ちと一層かけ離れたものとなっています。また、社会党の路線転換の中で「闘う労働運動の再構築を」という気運が広範に広がっています。

九・一八集会を成功させた一年間の闘いの成果に踏まえ、労組交流センターの拡大を基礎に闘う労働運動の潮流を作りあげるために全力で闘うこととします。

一〇・九三里塚現地 感服

全国総決起集會に集まろう!

闘う労働者の代表を! JRの反動的再編阻止大合理化に抗し闘う議員を統一地方選挙、動労千葉組織内候補

水野正美 (勝浦市)

中江昌夫 (船橋市)